科目ナンバリング	U-LAS02 10006 LJ35						
授業科目名 <英訳>	東洋美術史II History of Oriental Art II			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 竹浪　遠		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	月3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

中国絵画は古代以来の歴史があり、伝統の上に創造が加えられることで豊かな展開を遂げてきた。東洋美術史IIでは、前期の東洋美術史Iに引き続き、五代・北宋～清時代を中心に中国絵画史を概観する。美術史学の特徴である作品からのアプローチを重視し、各時代の代表作例を軸に論じていきたい。日本絵画へ与えた影響も大きく、我々自身の文化的土壌を知る機会にもなるだろう。各回ごとに講義レジュメを配付し、関連作品をプロジェクターで紹介する。設問も交えつつ、作品の主題や表現、時代背景などを解説する。

[到達目標]

中国絵画史に関する基礎的な知識と研究方法を習得し、美術研究はもとより制作や鑑賞にも活用できるようになることを目標とする。

[授業計画と内容]

１．ガイダンス
２．華北・江南山水画の成立　五代
３．山水画の黄金期　北宋１
４．郭熙の山水画とその理論　北宋２
５．蘇軾周辺の文人画家たち　北宋３
６．徽宗とその画院　北宋４
７．画院の絵画　南宋１
８．禅僧の墨戯　南宋２
９．文人の絵画　元１
10. 元末四大家と李郭派　元２
11. 浙派の多彩な技巧　明１
12. 呉派文人画と董其昌　明２
13. 南宗正統派の画家たち　清１
14. 江南諸都市の画派と個性派　清２
15. フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

レポート：７割
授業参加状況と小課題の到達度：３割

東洋美術史II(2)へ続く↓↓↓

東洋美術史II(2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
『世界美術大全集　東洋編』(小学館)（全１７巻、1997～2001年。）
曽布川寛監修『中国書画探訪―関西の収蔵家とその名品―』(二玄社)（関西中国書画コレクション研究会編、2011年 。）
宇佐美文理『中国絵画入門』(岩波書店)（岩波新書、2014年。）

[授業外学修（予習・復習）等]

前期の東洋美術史Iの本欄を参照のこと。

[その他（オフィスアワー等）]

前期（東洋美術史Ｉ）未履修者にも理解できるよう配慮するが、なるべく通年での履修を勧める。毎回配付する講義レジュメは、小課題にも使用するので、取り忘れが無いように注意すること。復習にも使うので、１、２回前の分も持ってくるのが望ましい。